大會決意事項

一、貴支部より選出せらる可き代議員の数は　　名也

二、代議員は同封の信任状に必要事項を記入し正副各一通宛を持参せられ度く、[illegible]場合は其資格なきものとす

三、信任状を持参せる代議員と雖も其選出支部組合に於て會費を完納し居らざる場合に於ては無資格なるものとす

四、代議員諸兄の為めに旅館を特約し幾分の便宜を計る可く紹介を要せらるる方は本部まで申込まれ度し

五、大會當日（十月五日午前八時）大阪市中之島公園奏樂堂に参集天王寺公園會堂に至る間示威行列を決行する可きに付き當日午前八時迄に大阪驛着の豫定にて御來發を希望す
同驛に歡迎委員を派し案内の任に當る可し

六、代議員選出方法　會則

大會代議員選出方法

一、組合
(1) 組合員を代表する代議員
(イ) 會員所屬組合の組合員五十名未滿の團体は一名
(ロ) 仝上五十名以上二百名未滿の團体は二名
(ハ) 仝上二百名以上五百名未滿の團体は三名
(ニ) 仝上五百名以上千名未滿の團体は四名
(2) 組合代表者一名
組合所屬支部代表者

大日本勞働總同盟友愛會

◎日時　十月五日午後六時半
◎場所　中央公會堂

辯士

開會の辭　大阪聯合會主事　西尾末廣
勞働の目的　本部會計　松岡駒吉
新社會の建設　京都聯合會主事　東忠繼
ゼノア會議に就て　海員部長　濱田國太郎

八週年紀念大演說會

聯合より合同へ　全日本礦夫總聯合理事　河井榮三
資本主義の現實曝露　東京聯合會主事　棚橋小虎
夕立ち前　關西出張所主任　久留弘三
プロレタリアート責任　全日本礦夫總聯合理事　麻生久
工場管理權論　關西勞働同盟會理事長　賀川豐彦
改造期の勞働の運動　會長　鈴木文治
外數名

普選期成

治警撤廢

■日時　大正八年十二月二十四日(水)午後六時
■場所　神田青年會館

■吾等は斯く要求す　本會々長　鈴木文治君
■本會各團體代表者　數名
■勞働者の權利　新人セルロイド職工組合　門田武雄君
■血税と普通選擧　日本勞働組合總聯合會　武[illegible]井榮君

勞働大演說會

■鑛山坑夫と普通選擧　全日本鑛山勞働同盟會　高尾公平君
■政府と資本家　信友會　入澤吉次郎君
■治警法の撤廢と普選權の要求　本會評議員　北澤新次郎君
■勞働組合と普通選擧　大山郁夫君
■普通選擧論　衆議院議員　今井嘉幸君

入場無料
[illegible]歡迎

主催　友愛會